

# 草の根・人間の安全保障無償資金協力

## 平成30年度「ムジンバ県女子児童のための衛生環境整備計画」 完工式

2020年10月28日



女子トイレおよび着替え室21棟の完成を祝って、リボンカットを行う  
岩切大使夫妻、ミホマ・オックスファム代表とウィリマ教育副大臣



スピーチを行う岩切大使（左）とウィリマ教育副大臣（右）



スピーチを行うミホマ・オックスファム代表（左）とムファタ教育省基礎教育局長(右)



(左) 20校女子児童代表に再利用可能な生理用品を贈る岩切大使夫人、オックスファム代表および教育副大臣

(右) 感謝を込めて歌を披露する女子児童代表



伝統的な踊りを披露する地域住民



完成した女子トイレおよび着替え室

2020年10月28日、マラウイ国北部ムジンバ県にて、被供与団体である「オックスファム・マラウイ」(Oxfam)の主催により、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ムジンバ県女子児童のための衛生環境整備計画」の完工式が行われました。式典には、岩切大使夫妻のほかウィリマ教育副大臣も列席してプロジェクトの完成を祝いました。また、岩切大使夫人は、20校の代表女子児童に再利用可能な生理用品セットを教育副大臣および被供与団体代表とともに贈りました。

この計画は、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金により、Oxfam に贈与した54,916米ドルにより実施したもので、6,000人の女子児童を対象に21のトイレおよび着替え室を建設するというものです。これにより、生理中の学校出席が困難であった女子児童が、これからは安心して授業を受けることが可能になります。

式典で岩切大使は、マラウイ政府が第3次マラウイ成長開発戦略の目標に沿って、女子と男子両方の初等教育へのアクセスを促進することに尽力している事に賛辞を述べました。そしてさらに、女子と男子が適切な教育環境下で学習を教授できるよう継続的な改善を期待すると述べました。また、同施策が女子と男子双方に平等な教育機会の提供を保証するようにと訴えました。「女子が不利な立場にある場合、彼女たちが男子同様に優れた可能性を発揮できる政策が必要です。同様に、男子が困難に直面している場合もまた、彼らの優れた能力を発揮できる適切な教育環境を整備する施策が必要です。」と述べました。

岩切大使はさらに、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、日本政府が保健と教育および青少年のエンパワーメントなど異なる分野においてマラウイ国内でプロジェクトを実施していることを伝え、今後も引き続き、マラウイの人々の生活向上と同国の発展のためにパートナーとして引き続き協力を行うと述べました。教育副大臣および関係者からは、日本政府の支援に対する多くの謝辞が述べられました。